



2024年6月12日

## 「オリンピック・パラリンピック競技大会パリ2024公式記念コイン」 最終予約販売のお知らせ

筑波銀行（頭取 生田 雅彦）は、「オリンピック・パラリンピック競技大会パリ2024公式記念コイン」の最終予約販売を6月17日（月）より開始しますのでお知らせいたします。

このコインは、2024年7月にパリでオリンピック・パラリンピックが開催されることを祝して、フランス国立造幣局（モネ・ド・パリ）が鑄造し、フランスから発行されるもので、下記のとおり予約販売を開始いたします。

### 記

#### 1. 販売概要

	種類	販売価格	数量
A	500 ユーロ金貨<オリンピックトーチ>	4,290,000 円	限定 60 枚
B	200 ユーロ金貨<エッフェル塔>	880,000 円	限定 350 枚
C	50 ユーロ金貨<オリンピックトーチ>	231,000 円	限定 200 枚
D	50 ユーロ金貨<ノートルダム大聖堂>	231,000 円	限定 200 枚
E	50 ユーロ金貨<エトワール凱旋門>	231,000 円	限定 200 枚
F	金貨 3 種セット	693,000 円	限定 300 セット
G	銀貨 4 種セット	74,800 円	限定 700 セット
H	200 ユーロ金貨<ヴェルサイユ宮殿>	880,000 円	限定 40 枚

※いずれも税込価格です。

※各商品特製ケースと発行証明書を付けてお渡しいたします。

#### 2. 予約販売受付期間

2024年6月17日（月）～ 7月5日（金）

※数量限定のため、受付期間中であっても販売予定数量に達した場合は、販売を締め切らせていただきます。

#### 3. お引渡し予定日

2024年8月27日（火）以降

#### 4. 販売窓口

当行全営業店（つくばのガマぐち支店（インターネット専業支店）は除きます。）

以 上

報道機関のお問合せ先  
筑波銀行 総合企画部広報室  
TEL 029-859-8111



PRODUIT  
OFFICIEL  
SOUS  
LICENCE



## 商品の一覧

### A. 500ユーロ金貨〈オリンピクトーチ〉

4,290,000円(税込) 限定60枚

品位:99.9% 重量:155.500g 直径:50.00mm 状態:プルーフ



### B. 200ユーロ金貨〈エッフェル塔〉

880,000円(税込) 限定350枚

品位:99.9% 重量:31.104g 直径:37.00mm 状態:プルーフ



### C. 50ユーロ金貨〈オリンピクトーチ〉

231,000円(税込) 限定200枚

品位:99.9% 重量:7.780g 直径:22.00mm 状態:プルーフ



### D. 50ユーロ金貨〈ノートルダム大聖堂〉

231,000円(税込) 限定200枚

品位:99.9% 重量:7.780g 直径:22.00mm 状態:プルーフ



### E. 50ユーロ金貨〈エトワール凱旋門〉

231,000円(税込) 限定200枚

品位:99.9% 重量:7.780g 直径:22.00mm 状態:プルーフ





PRODUIT  
OFFICIEL  
SOUS  
LICENCE



## F. 金貨3種セット (C,D,E)

693,000円(税込) 限定300セット



## G. 銀貨4種セット

74,800円(税込) 限定700セット

品位:99.9% 重量:22.20g 直径:37.00mm 状態:プルーフ

- ①10ユーロ銀貨<オリンピックトーチ>
- ②10ユーロ銀貨<棒高跳び>
- ③10ユーロ銀貨<フェンシング>
- ④10ユーロ銀貨<ハンドボール>



## H. 200ユーロ金貨<ヴェルサイユ宮殿>

880,000円(税込) 限定40枚

品位:99.9% 重量:31.104g 直径:37.00mm 状態:プルーフ





## デザインと解説

### ◆金貨・銀貨共通裏面

裏面



オリンピックとして史上初めて競技場外の開会式会場となる「セーヌ川」を陸上競技のトラックに見立てたデザインで描き、ほとりに立つ「エッフェル塔」やパリ市街の風景を緻密な彫刻で表現。本大会のテーマの一つである「スポーツを町の中に」を象徴的に表しています。上部には大会公式エンブレム、中央に発行国(フランス共和国)を表す「RF」、額面などを刻印。



### ◆オリンピックトーチ(500ユーロ金貨/50ユーロ金貨)

表面



フランスを象徴する女性像であるフリジア帽を被ったマリヤヌスが、オリンピックトーチを手にトラックを走る様子を大きくデザイン。トーチは完全な左右・上下対称に設計されており、大会テーマの「平等」を表現。マリヤヌスのモチーフは、彫刻家オスカー・ロティが19世紀末に発表した作品「種を蒔く人」で描いたもので、フランスでは強い女性の象徴として1世紀以上前から硬貨のデザインに使われています。



1974年発行「種を蒔く人」金貨

### ◆エッフェル塔(200ユーロ金貨)

表面



1991年にセーヌ川周辺とともに世界遺産に登録されたエッフェル塔は、本シリーズの裏面共通デザインにも採用されました。見上げるようなアングルでそびえ立つ塔を描くとともに、背景に鉄骨構造のアップを緻密な彫刻で刻印し、その重厚感や造形美を巧みに表現しています。陸上トラックのモチーフも重ねられています。



### ◆ノートルダム大聖堂(50ユーロ金貨)

表面



2024年末の再公開に向け再建工事が進められている世界遺産。中央には建物外観とともに有名な“バラ窓”と呼ばれるステンドグラスの装飾が緻密に刻印されています。周囲には陸上トラックのモチーフや、両脇には大聖堂に設置されている魔除けの像(ガーゴイル)が建物を見守るように描かれたユニークなデザイン。



### ◆エトワール凱旋門(50ユーロ金貨)

表面



高さ50m、幅45mの壮大なスケールの門を下から見上げたアングルで表現。下部には、シャンゼリゼ通り側に設置されている彫刻「1792年の義勇兵の出發」で勝利の女神が兵士たちを導く様子、陸上トラックのモチーフをコラボしています。同彫刻の通称「ラ・マルセイエーズ」はフランス国歌のタイトルでもあります。





## デザインと解説

### ◆オリムピクトーチ(10ユーロ銀貨)

表面



コイン上部のトーチの聖火部分には光の反射によって様々な色に見える「ホログラム加工」が施されており、炎のたなびく様子が表現されています。※デザイン解説は金貨の説明をご参照ください

### ◆棒高跳び(10ユーロ銀貨)

表面



陸上競技の人気種目「棒高跳び」がテーマ。ボールを跳び越えるアスリートの動作を躍動的に捉えるとともに、鍛え上げられた筋肉から指先までリアルに表現しています。背景には競技場トラックのモチーフ、競技名「SAUT À LA PERCHE」も刻まれています。



写真:アフロ

### ◆フェンシング(10ユーロ銀貨)

表面



最も歴史あるオリンピック競技の一つ「フェンシング」がテーマ。剣や身体の軌跡によって選手同士の激しい攻防からポイントが決まった瞬間を描写。防具などもリアルに表現されています。背景には競技場トラックのモチーフ、競技名「ESCRIME」も刻まれています。



### ◆ハンドボール(10ユーロ銀貨)

表面



男子日本代表が出場権を獲得した「ハンドボール」がテーマ。ダイナミックな跳躍からシュート体勢に入るまでの手や足の動作や、鍛え上げられた筋肉から指先までをリアルに表現しています。背景には競技場トラックのモチーフ、競技名「HANDBALL」も刻まれています。



写真:アフロ



(参考)

## 「オリンピック・パラリンピック競技大会パリ2024」について

### ■大会概要

パリでのオリンピック開催は通算3度目、前回(1924年)からちょうど100年後という記念すべき大会です。オリンピックは2024年7月26日から8月11日の17日間、パラリンピックは8月28日から9月8日の12日間行われ、パリを中心としたフランス国内10都市が熱戦の舞台となります。

史上初めて出場選手が男女同数で行われる「聖火リレー」は、2024年5月にスタートし68日間をかけて1万1000人のランナーが参加します。大会の象徴である聖火を運ぶオリンピックトーチは、フランス人デザイナーのマチュー・ルアヌール氏によるもので、完全な左右・上下対称性のデザインで「平等」、波のようなレリーフで「水」、丸みのある曲線の美しさで「平和」という大会のテーマを表現しています。

### ■大会公式エンブレム

「金メダル」のゴールドがテーマカラー。唇のアイコンは、フランス共和国の自由、平等、友愛を象徴する女性像「マリアンヌ」をイメージしたものです。マリアンヌの髪の毛は、オリンピックの聖火の炎も想起させる多義図形(複数の見え方がするデザイン)となっています。ロゴの書体は、1910年代半ばから1930年代にかけて発展した芸術運動の「アールデコ」に触発されたものです。



開催期間 **2024. オリンピック 7.26→8.11** **2024. パラリンピック 8.28→9.8**

開催地 **パリ (フランス共和国)**



## 「フランス国立造幣局(モネ・ド・パリ)」について

フランスの貨幣鑄造の歴史は、貨幣関係事業を統合したシャルルマーニュ大帝の時代の9世紀にさかのぼります。フランス国立造幣局は、シャルル2世により864年に設立された世界最古の造幣局で、現在に至るまで稼働し続けている最古の企業でもあります。18世紀に建設されたパリの造幣局には、美術館が併設。職人の手作りによる記念コインや勲章などの製作を行っており、その高い芸術性や独創性、デザイン性や技術は高く評価されています。

